



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：議会関係者第1陣（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から議会関係者5名が2018年8月5日～8月11日の日程で来日しました。日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加し、講義、視察、日本人との交流を通じて幅広く日本を理解する機会を持ちました。

【参加国・人数】

米国：5名

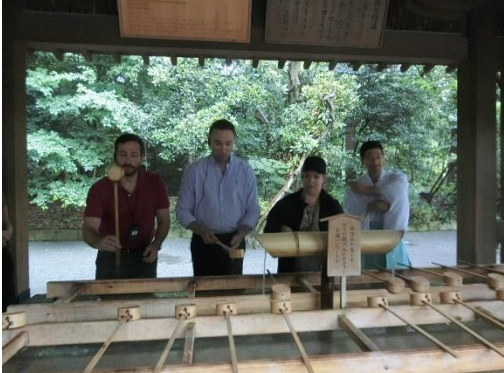
【訪問地】

東京都、神奈川県、福岡県、長崎県

2. 日程

8/5（日）	【来日】
8/6（月）	【講義】外務省経済局経済連携課 【講義】国家安全保障局 【表敬訪問】在京米国大使館 【講義】経済産業省 【講義】防衛省
8/7（火）	【視察】明治神宮 【視察】相互発條株式会社
8/8（水）	東京都から福岡県へ移動 【視察】博多町やふるさと館・櫛田神社・川端商店街 【表敬訪問】在福岡米国領事館
8/9（木）	福岡県から長崎県へ移動 【視察】グラバー邸、大浦天主堂 【視察】長崎原爆資料館、平和公園 【視察】株式会社ウラノ 長崎工場
8/10（金）	【表敬訪問】佐世保市長 【視察】海上自衛隊佐世保基地併設・佐世保資料館 【視察】米海軍佐世保基地 【視察】梅ヶ枝酒蔵 長崎県から東京都へ移動
8/11（土）	【視察】浅草・仲見世通り 【離日】

3. プログラム記録写真

	
8/6【講義】外務省経済局経済連携課	8/7【視察】明治神宮
	
8/7【視察】相互発條株式会社	8/9【視察】株式会社ウラノ 長崎工場
	
8/10【表敬訪問】佐世保市長	8/10【視察】梅ヶ枝酒蔵

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ TPP 及び貿易協定に関する日本政府の見解を学び理解できたことは国際貿易に関係する私の仕事に非常に有益でした。また、地域の安全環境について、日米両国が共同活動や演習をいかに改善できるかの見解を防衛省から聞くことができとてもよかったです。防衛省及び国家安全保障局との会見は非常に興味深く多くを学びました。ワシントンに戻り国のアジア太平洋地域の戦略評価の際に考慮に入れたいと思います。最後になりますが、野球の試合観戦はとても楽しかったです。とても面白く若い世代と話ができました。東京の文化活動に参加するユニークな機会でした。アメリカの野球の試合とは全く異なっていましたが、日本の方がずっと楽しいものでした。